

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月3日

上場会社名 東京応化工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4186 URL <http://www.tok.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 中村 洋一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 村上 裕一

TEL 044-435-3000

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	51,284	△25.7	△277	—	181	△90.1	△181	—
21年3月期第3四半期	68,996	—	2,104	—	1,846	—	△801	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△4.02	—
21年3月期第3四半期	△17.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	137,850	116,855	83.6	2,560.92
21年3月期	139,338	118,377	83.7	2,591.43

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 115,257百万円 21年3月期 116,633百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	18.00	—	17.00	35.00
22年3月期	—	15.00	—		
22年3月期 (予想)				15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	△16.4	△600	—	△100	—	△300	—	△6.66

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	46,600,000株	21年3月期	46,600,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	1,593,673株	21年3月期	1,592,767株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	45,006,925株	21年3月期第3四半期	45,858,550株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日）におけるわが国経済は、経済対策の効果や在庫調整の一巡により生産の持ち直しが見られたものの、雇用や所得環境の悪化やデフレの進行等により、依然として厳しい状況で推移しました。

このような情勢の下、当企業集団は、半導体市場、液晶ディスプレイ市場において、国内外の景気刺激策による生産の回復に伴い、材料事業は順調に推移いたしました。しかし、装置事業におきましては、検収の遅延等から厳しい展開を余儀なくされました。また、コスト削減に向けた事業構造改革にも鋭意取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は512億84百万円（前年同期比25.7%減）となりました。また、利益面におきましては、営業利益、経常利益、四半期純利益とも当第3四半期（平成21年10月1日から平成21年12月31日）において黒字転換を果たすことができましたが、当第3四半期連結累計期間では、営業損失は2億77百万円（前年同期は営業利益21億4百万円）、経常利益は1億81百万円（前年同期比90.1%減）、四半期純損失は前年同期比6億2千万円改善し1億81百万円となりました。

また、部門別の概況につきましては以下のとおりとなっております。

(1) 材料事業

エレクトロニクス機能材料部門は、半導体用フォトレジスト、液晶ディスプレイ用フォトレジストとも市場の回復により出荷の持ち直しがあり当第3四半期の売上は前年同期を上回りましたが、9ヶ月累計では前年同期の水準を下回り、当部門の売上高は297億28百万円（前年同期比20.6%減）となりました。

高純度化学薬品部門におきましても、市場は回復基調であるものの需要は前年同期の水準には至らず、当部門の売上高は159億38百万円（同23.0%減）となりました。

印刷材料部門では、引き続き需要低迷の影響を受け低調に推移し、当部門の売上高は23億87百万円（同21.9%減）となりました。

この結果、材料事業の売上高は480億71百万円（同21.6%減）、営業利益は42億88百万円（同26.8%減）となりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期累計	当第3四半期累計	増減率
売上高	61,302	48,071	△21.6%
営業利益	5,857	4,288	△26.8%

(2) 装置事業

液晶パネル製造装置は、ユーザーにおける設備投資の需要を捕捉し、受注は前年同期比で増加いたしました。新機種への対応等で検収の遅延が見られ、売上は前年同期を下回りました。

この結果、装置事業の売上高は32億67百万円（同57.8%減）、営業損失は前年同期比13億78百万円悪化し17億69百万円となりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期累計	当第3四半期累計	増減率
売上高	7,748	3,267	△57.8%
営業損失	△390	△1,769	—

なお、セグメント間の取引につきましては、相殺消去しておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は1,378億5千万円で、前連結会計年度末に比べ14億88百万円減少いたしました。

流動資産は18億54百万円減少いたしました。これは受取手形及び売掛金が53億14百万円、たな卸資産が10億99百万円、それぞれ増加したのに対し、現金及び預金が77億88百万円、その他が未収還付法人税等の減少等により4億95百万円、それぞれ減少したことが主な要因であります。

固定資産につきましては3億65百万円増加いたしました。これは減価償却の進行等により有形固定資産が29億

92百万円、無形固定資産が1億62百万円、それぞれ減少したのに対し、投資その他の資産が長期預金の増加等により35億2千万円増加したことが主な要因であります。

負債合計は209億95百万円で、前連結会計年度末に比べ34百万円増加いたしました。これは賞与引当金が7億48百万円、長期借入金が58百万円、それぞれ減少したのに対し、支払手形及び買掛金が8億57百万円増加したことが主な要因であります。

純資産合計は1,168億55百万円で、前連結会計年度末に比べ15億22百万円減少いたしました。これはその他有価証券評価差額金が2億38百万円増加したのに対し、利益剰余金が当期純損失や配当金の支払により16億21百万円、少数株主持分が1億46百万円、それぞれ減少したことが主な要因であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は83.6%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費や前受金の増加等がありましたものの、売上債権の増加やたな卸資産の増加等により、前年同期の61億37百万円の資金収入から18億29百万円の資金支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、長期預金の預入による支出や有形固定資産の取得による支出等がありましたものの、定期預金の純減少により、前年同期の50億61百万円の資金投下から3億4千万円の資金収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により、前年同期に比べ13億19百万円減少の17億61百万円の資金支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の第3四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ32億24百万円減少し212億33百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、平成21年11月5日に発表いたしました業績予想修正値から見直しは行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,294	40,082
受取手形及び売掛金	23,479	18,165
商品及び製品	10,883	10,542
仕掛品	6,064	4,797
原材料及び貯蔵品	3,175	3,683
その他	3,377	3,873
貸倒引当金	△462	△478
流動資産合計	78,813	80,667
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,167	18,147
その他（純額）	17,988	21,001
有形固定資産合計	36,156	39,148
無形固定資産	423	585
投資その他の資産		
長期預金	12,000	10,000
その他	11,264	9,611
貸倒引当金	△806	△674
投資その他の資産合計	22,457	18,937
固定資産合計	59,037	58,671
資産合計	137,850	139,338

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,064	7,207
未払法人税等	200	201
賞与引当金	605	1,353
その他	10,008	9,994
流動負債合計	18,878	18,755
固定負債		
退職給付引当金	1,311	1,312
その他	805	892
固定負債合計	2,117	2,205
負債合計	20,995	20,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	15,207	15,207
利益剰余金	89,198	90,819
自己株式	△2,926	△2,925
株主資本合計	116,120	117,743
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,161	923
為替換算調整勘定	△2,024	△2,033
評価・換算差額等合計	△862	△1,109
少数株主持分	1,597	1,744
純資産合計	116,855	118,377
負債純資産合計	137,850	139,338

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	68,996	51,284
売上原価	49,419	37,429
売上総利益	19,576	13,854
販売費及び一般管理費	17,472	14,131
営業利益又は営業損失(△)	2,104	△277
営業外収益		
受取利息	191	126
受取技術料	137	73
その他	329	472
営業外収益合計	658	672
営業外費用		
為替差損	604	17
休止固定資産減価償却費	—	50
租税公課	—	112
その他	313	33
営業外費用合計	917	213
経常利益	1,846	181
特別利益		
固定資産売却益	9	6
投資有価証券売却益	—	81
貸倒引当金戻入額	7	58
特別利益合計	17	145
特別損失		
減損損失	444	118
たな卸資産評価損	327	—
投資有価証券評価損	226	—
割増退職金	—	331
その他	90	108
特別損失合計	1,089	558
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	774	△230
法人税、住民税及び事業税	628	239
過年度法人税等	562	—
法人税等調整額	207	△306
法人税等合計	1,398	△67
少数株主利益	176	18
四半期純損失(△)	△801	△181

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	774	△230
減価償却費	5,449	4,053
減損損失	444	118
貸倒引当金の増減額(△は減少)	123	108
賞与引当金の増減額(△は減少)	△906	△748
受取利息及び受取配当金	△308	△230
支払利息	21	—
為替差損益(△は益)	562	△116
投資有価証券評価損益(△は益)	226	—
売上債権の増減額(△は増加)	5,419	△5,417
たな卸資産の増減額(△は増加)	262	△1,047
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,223	852
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△81
前受金の増減額(△は減少)	△2,009	1,041
その他	△25	△1,054
小計	8,811	△2,752
利息及び配当金の受取額	262	200
利息の支払額	△18	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,355	733
過年度法人税等の支払額	△562	—
その他の支出	—	△11
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,137	△1,829
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	340	4,617
有形固定資産の取得による支出	△3,603	△1,157
無形固定資産の取得による支出	△65	△75
投資有価証券の取得による支出	△170	—
長期預金の預入による支出	△1,500	△2,000
その他	△63	△1,045
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,061	340
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,666	△1,433
少数株主への配当金の支払額	△176	△190
自己株式の取得による支出	△1,316	—
自己株式の売却による収入	104	—
その他	△25	△137
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,080	△1,761
現金及び現金同等物に係る換算差額	△356	26
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,360	△3,224
現金及び現金同等物の期首残高	19,539	24,458
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,179	21,233

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(単位: 百万円)

	材料事業	装置事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	61,302	7,693	68,996	—	68,996
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	—	54	54	(54)	—
計	61,302	7,748	69,050	(54)	68,996
営業利益又は営業損失 (△)	5,857	△390	5,466	(3,362)	2,104

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位: 百万円)

	材料事業	装置事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	48,071	3,212	51,284	—	51,284
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	—	54	54	(54)	—
計	48,071	3,267	51,338	(54)	51,284
営業利益又は営業損失 (△)	4,288	△1,769	2,518	(2,796)	△277

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主な製品

事業区分	主な製品
材料事業	エレクトロニクス機能材料、高純度化学薬品、印刷材料
装置事業	液晶パネル製造装置、半導体製造装置

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

（単位：百万円）

	日本	北米	欧州	アジア	計	消去又は は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	48,915	6,248	4,606	9,225	68,996	—	68,996
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	7,945	922	25	291	9,185	(9,185)	—
計	56,860	7,171	4,631	9,517	78,181	(9,185)	68,996
営業利益	952	797	118	733	2,602	(497)	2,104

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

（単位：百万円）

	日本	北米	欧州	アジア	計	消去又は は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	37,227	4,215	3,728	6,112	51,284	—	51,284
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	7,606	1,131	24	327	9,089	(9,089)	—
計	44,834	5,346	3,752	6,440	60,374	(9,089)	51,284
営業利益又は営業損失（△）	△240	259	△89	212	142	(419)	△277

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する国または地域

(1) 北米・・・アメリカ合衆国

(2) 欧州・・・イタリア、オランダ

(3) アジア・・・大韓民国、台湾、中華人民共和国

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	北米	欧州	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	6,690	4,537	29,891	336	41,455
II 連結売上高（百万円）					68,996
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	9.7	6.6	43.3	0.5	60.1

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	北米	欧州	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	4,652	2,939	21,659	228	29,480
II 連結売上高（百万円）					51,284
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	9.1	5.7	42.2	0.5	57.5

(注) 1. 地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米・・・アメリカ合衆国、カナダ

(2) 欧州・・・フランス、イタリア、オランダ、ドイツ、アイルランド

(3) アジア・・・大韓民国、台湾、中華人民共和国、シンガポール、イスラエル

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。